

普及啓発等実施状況報告

京都府地球温暖化防止活動推進センター

1

今回の目的

府の目標達成のためには、例えば家庭用太陽光発電は新たに毎年1万件以上のペース（※ここ数年のペースの2.5倍）での設置が必要。

主に個人住宅を対象とする支援制度の拡充が不可欠。

「京都再エネコンシェルジュ」の研修・認証制度の運用。

+

京都再エネコンシェルジュが活躍するための基盤の整備。及び、土壌となる府民の意識醸成。

2

京都再エネポータルサイト

コンシェルジュの情報のアップデート、補助金などの情報、認証式やイベントの情報などを掲載。訪問者数96,419人

家庭向け太陽光発電の「みなし認定」手続き期限が、9月末から12月末までに延長しました

経済産業省は平成28年8月31日に11法を改正し、10kW未満太陽光発電設備（家庭向け太陽光）の「みなし認定」手続きの期限を平成29年9月末から平成29年12月末まで延長しました。（10kW以上の太陽光発電設備は従来通り9月30日までです）

経済産業省エネルギー庁の発表URL：
http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saizensakudori/fil_point.html

事業計画書を提出する対象者

平成24(2012)年7月から、平成29(2017)年3月までに太陽光発電（家庭向けを含む）を導入された方

平成29年4月より施行された改正11法により、平成24(2012)年7月から、平成29(2017)年3月までに太陽光発電（家庭向けを含む）を導入された方（みなし認定）は、事業計画書を再確認エネルギー庁へ提出する必要があります。

※手続きの詳細はこちらの「[京都再エネポータルサイト](#)」をご覧ください。
 また、再確認エネルギー庁のお問い合わせの電話番号は TEL.0570-057-333 PH.S・IP電話からは042-524-4261となっております。

なお、Q&Aには下記のような表記がございますので、注意して対応ください。

Q. 締め切りをすぎると失効になりますか？

A. すぐに失効にはなりません。提出が確認できない場合は、確認の対象になり、認定が取り消される可能性があります。

補助金などの情報

京都再エネコンシェルジュの認証書授与式が行われました

平成29年11月21日に

京都再エネコンシェルジュ認証書授与式が

京都府公館レセプションホールにて開催されました。

今回の認証で、新たに14名の京都再エネコンシェルジュが認証されました。



京都再エネコンシェルジュについての情報

啓発資材

チラシ・ポスター

京都再エネコンシェルジュへ頒布



楯

京都再エネコンシェルジュへ実費提供 19



のぼり

京都再エネコンシェルジュへ実費提供 43枚



見学会（既認証者向け）

既認証者向けに、木質バイオマスの見学会を京都市京北地域で実施。
ペレット工場の見学、実際に家庭で使用しているペレットストーブ、ペレットボイラー、薪ボイラー等を見学。



薪ストーブ導入者をヒアリング



ペレット工場



コンシェルジュ同士での交流

5

市町村と連携（舞鶴市）

まいづる環境フェスタにて、舞鶴市内の京都再エネコンシェルジュと共にブース出展を行った。



手前で工作教室を行う。
工作教室の後ろには、舞鶴市内の京都再エネコンシェルジュをパネル展示。
奥では、京都再エネコンシェルジュがブース出展。

6

市町村と連携（宇治市）

宇治市で府民が中心となって実施した再エネのプロジェクト（啓発用水車発電、工作など）を支援。



7

標準化プロジェクト

複数の工務店（コンシェルジュ）より「新築に当たって、施主のメリットを考えて再エネ設備をお勧めしているのに、なかなか採択されないのが残念。良い方法はないか」という声が。

「太陽光発電を追加しませんか」と提案しても、なかなか採択に至らないのはなぜか。そのメカニズム（心理的要素）に着目。

設置に適した物件については「太陽光発電を搭載した初期プランを提案していますが、もちろん外すことができますよ」と提案してもらったプロジェクトを、コンシェルジュがいる工務店3つ及び京都府立大学環境心理行動学研究室と連携して実施中。

施主の自由な選択の権利を全く損なうことなく、提案の方法（スタート地点）を変えることで採択率を向上させられるのでは？

今後継続的にデータを蓄積し、工務店ヒアリングも実施予定。（※別紙参照）



8

普及啓発イベント

- ・府民と京都再エネコンシェルジュを繋ぐため、イベントを6回、約1,740人の府民へ実施。
- ・イベント内容では、再エネ体験や、遊びなどゲームを行うコーナーを入れ、再エネに親しんでもらう。
- ・チラシに加え、京都再エネコンシェルジュに関係した啓発グッズを配布。
- ・舞鶴では、地元のコンシェルジュと協働でブース出展を行う。
- ・イオン桂川では、イオン、京都市と協力し、ペレットストーブの実物を展示。
- ・イベントは、京都新聞や朝日新聞等メディアに掲載された。

9

普及啓発イベント

日付	イベント名	内容	連携団体	参加人数
11/5	京都エネルギーフェア @みやこめっせ	体験展示、 再エネゲーム	京都市	200名
11/12	まいづる環境フェスタ@ 舞鶴市赤レンガパーク	舞鶴市内のコン シェルジュとブー ス出展、体験展 示、工作	まいづる市民環境会議 /舞鶴市	500名
11/19	環境フェスタ inKYOTANABE	体験展示、 再エネゲーム	京田辺市	290名
11/23	地域ふれあいサイエ ンスフェスタ @ガレリア亀岡	体験展示、 再エネゲーム	亀岡市/南丹保健所	400名
1/13	@イオン桂川	ペレット展示 体験展示	京都市/イオン	150名
1/28	京丹後環境フェア(@マ イン)	体験展示 再エネゲーム	京丹後市	200名

10

イベントでの啓発内容（体験）

太陽光発電



風力



木質バイオマス



太陽熱利用



- ・主として親子向けに、再生可能エネルギーをさまざまな形で体験してもらう。
- ・景品として、木質ペレットをプレゼント。
- ・チラシを配布。



木質ペレット

再エネゲーム



全体



イベントでの風景



（左図）イオン桂川では、イオンの好意もあり、ペレットを実物展示。実物を展示することで、多くの方に再エネ設備について興味を持ってもらえた。

再エネ工作教室

日付	場所	内容	参加者数	連携団体
7/29	城陽市北部コミュニティセンター	再エネミニ講座 + ソーラークッカー工作	30名	城陽市北部コミュニティセンター
8/5	城陽市福祉センターホール	再エネミニ講座 + 太陽熱温水器工作	26名	城陽市
8/10	向日市役所	再エネミニ講座 + ソーラーメロディハウス工作	15名	向日市
11/13	舞鶴赤レンガパーク	再エネミニ講座 + ソーラーハウス工作(×5回)	37名	まいづる環境市民会議/舞鶴市
12/2	精華町交流ホール	再エネミニ講座 + ソーラーハウス工作	26名	精華町
12/26	ミッブル(宮津市)	再エネミニ講座 + ソーラーハウス工作	34名	宮津環ネットワーク/宮津市

13

再エネ工作教室

未来を担う子どもたちへ、環境教育とともに再エネ工作教室を、市町村や地域協議会と協働で実施。全部で総参加者168名。一部では「再エネのある未来の町づくり」をするというストーリーを実施。



14

メディア掲載等

- テレビ 平成30年1月30日 KBS京都おやかまっさん
- ラジオ 平成30年2月 aSTATION
- 新聞 平成29年12月27日 読売新聞京都版
平成30年1月14日 朝日新聞京都版
平成30年1月14日 京都新聞洛西版



読売新聞 平成29年12月27日



朝日新聞京都版 平成30年1月14日



京都新聞洛西版 平成30年1月14日

小冊子

京都再エネコンシェルジュのいるお店で、府民が再エネ導入のきっかけとなる冊子を作成。

